

第五十二回 帝國議會院

# 公益質屋法案委員會議錄(速記)第二回

## 付託議案

出席委員左ノ如シ	委員長 横山勝太郎君	理事 井本 常作君
	理事 川口 義久君	理事 大麻 唯男君
	栗延敬太郎君 山枡 儀重君	栗延敬太郎君 山田 助作君
	齋藤仁太郎君 本田 義成君	安藤 正純君 牧野 良三君
	櫻内 幸雄君 丸山 浪彌君	筒井 民次郎君 山口 政二君
出席政府委員左ノ如シ	内務政務次官 俵 孫一君	同月十七日委員武富濟君辭任ニ付其ノ 補闕トシテ同日工藤鐵男君ヲ議長ニ於 テ選定セリ
出席政府委員左ノ如シ	社会局長官 長岡隆一郎君	本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
○横山委員長 會議ヲ開キマス、筒井 サン	公益質屋法案(政府提出)	○筒井委員 本會議ニ於テ大體ノ御説 明ハアリマシタガ、内容ニ付テ今少シ ク詳細ノ御説明ヲ承ッテカラ質問致シ タイト思ヒマス
○長岡政府委員 本案ノ理由ニ付キマ		

シテハ、本會議ニ於ケル僕政府委員ノ  
説明ヲ以テ略盡シテ居ルトハ存ジマス  
ケレドモ、只今筒井君カラ御要求モゴ  
ザイマシタカラ、多少重複ニ涉ルカモ  
知レマセヌガ、私ヨリ今一應申上ゲテ  
置キタイト思ヒマス、我國ノ下層階級  
ノ金融機關中、質屋ハ昔カラ中產階級  
以下ノ間ニ廣ク利用サレテ居ル金融機  
關デゴザイマシテ、最モ重要ナル施設  
ト考へテ居リマス、殊ニ下層階級ノ者  
ハ對人信用ト云フモノガ殆ドゴザイマ  
セヌカラ、簡易ナル動産擔保ノ制度ニ  
依リマシテ、下層金融上ノ障害ト認ム  
ベキ信用ノ缺陷ヲ補ヒ得ル結果廣ク利  
用サレテ居ルノデゴザイマス、而モ信  
用組合或ハ無盡等ノ如ク利用者ヲ限定  
スル必要モゴザイマセヌカラ、廣ク一  
般ノ利用ニ應ジ得ルト共ニ貸付手續ノ  
簡易ナルコトハ、他ノ金融機關ノ追隨  
ヲ許サナイ所デゴザイマス、質屋ガ下  
層階級ノ機關トシテ最モ適當ナル所以  
ガ此ニ存シテ居ルト考ヘマス、併ナガ  
ラ現在ニ於キマスル質屋營業ノ實情ヲ  
リマスル爲ニ、他ノ金融機關ニ比較致  
シマスル時ニハ、其發達ガ遅ク、後レテ  
居ル憾ガアルノミナラズ、特ニ社會政  
策ノ見地カラ見マス時ハ遺憾ノ點ガ少

クナイト考へマス、是等ノ缺陷ハ或ル程度マデハ在來ノ制度ニ相當ノ改善ヲ加フルコトニ依リマシテ、之ヲ矯正シ得ル點ガナイデハゴザイマセヌケレドモ、斯ノ如キ方法ヲ以テ致シテハ、到底益質屋ノ經營ヲ致シマシテ、是ガ完全ナル改善ヲ期スルコトガ出來マセヌ爲ニ、新ニ營利ヲ離レマシタ公アルト信ジタ次第デゴザイマス、公益ヲ目的ト致シテ居リマスル質屋ノ經營ハ、古クカラ外國ニ於テハ行ハレテ居リマス、而モ其成績頗ル顯著ナルモノガゴザイマシタ、我國ニ於キマシテモ近時公共團體及社會事業團體ニ於テ質屋ヲ經營スルモノガ漸次生ズルヤウニナツテ、何レモ相當ノ成績ヲ收メテ居リマス、其始メハ御承知ノ通り宮崎縣ノ南那珂郡細田村ト云フ漁村ニ於キマシテ、當時ノ村長ガ五千圓ノ村ノ基本財産ヲ此經營費ニ充テ、漁村ノ疲弊ヲ救テ來テ居リマスケレドモ、其數ハ未ダヒマシタコトガ其始メゴザイマス、ソレガ漸次都會ニモ農村ニモ普及致シス貸付金額ノ如キ、十圓ノ所モアリ二十圓ノ所モアリ、五十圓ノ所モアリ百

圓ノ所モアルト云フヤウナ状況デゴザ  
イマス、是ハ一例デゴザイマスルガ經  
營ノ方法ガ區々デゴザイマシテ、是ガ  
機能ヲ十分ニ發揮シテ居ナイ憾ミガナ  
イデモゴザイマセヌ、今日是レノ據ル  
ベキ制度ヲ樹立シテ其普及ヲ圖ルト云  
フコトハ急務デアラウト考ヘマス、質  
屋ニ關シマスル外國ノ法制ヲ見マスル  
ニ、質屋ハ專ラ公益ヲ目的トスルモノ  
デアルト云フ方針ノ下ニ全然私營ヲ禁  
ジテ居リマシタ、公益質屋ノミニ限ッテ  
居ル國モゴザイマスケレドモ、我國ニ  
於テハ今日營利質屋ヲ廢止致シテ、公益  
質屋ヲ以テ之ニ代ヘルト云フガ如キハ  
到底不可能ナル事デアルノミナラズ舊  
幕時代若クハソレ以前ヨリ長イ歴史ヲ  
持ツタ營利質屋ト云フモノ、存在モ相  
當ノ程度ニ於テ之ヲ認メ、公私併立致  
シマシテ公益質屋ノ足ラザル所ハ營利  
質屋ヲ以テ補ヒ、營利質屋ノ足ラザル  
所ハ公益質屋ヲ以テ補フコト、致シマ  
スコトガ、我國ノ現在ノ状況デハ適當  
ト考ヘマス、而シテ兩々相待テ庶民金  
融ノ實ヲ擧ゲルコトガ時宜ニ適スル次  
第ト考ヘタ次第デアリマス、以上ハ大  
體ニ於キマシテ公益質屋法案提出ノ理  
由デゴザイマスルガ、尙ホ條文ニ付キ  
マシテハ御尋ニ依リマシテ詳細ニ御答  
申上ゲルコト、致シマス

○筒井委員 私共が聞及シテ居リマス  
所デハ、専ラ社會局ノ方デ此問題ニ付  
テハ相當調査サレテ居タト聞イテ居  
リマスルガ、社會局ノ方ハ一口十圓、一  
世帶五十圓程度ト云フヤウナコトデヤッ  
タサウデアリマス、ソレガ此金融調査  
會ノ方ハ一口二十圓、一世帶百圓ト云  
フコトニ變ツタト云フコトニ付テ其根  
柢ヲ一寸御尋シタイト思ヒマス、ソレ  
カラ一口二十圓一世帶百圓、斯ウ云フ  
コトノ區別ガアリマスルガ、此一口二  
十圓或ハ一世帶百圓ト云フコトノ此區  
別ヲ如何ナル方法ニ依テ見分ケヲ爲サ  
ルノアルカト、斯ウ云フコト、ソレ  
カラ之ニ對スル十萬圓ノ補助金デアリ  
マスガ、是ハ極メテ少額ナル金額ノヤ  
ウニ思フノデアリマス、所謂此質庫竝  
ニ店舗ノ改造ニ當ツテ、其經費ノ二分ノ  
一ヲ補助スル、斯ウ云フコトニナッテ居  
リマスガ、質庫ヲ建設スルニシマシテ  
モ、店舗ヲ建設スルニシマシテモ、今日  
ノ場合相當費用ガ掛カルノデアリマス  
ガ、其掛カル所ノ經費ノ二分ノ一ヲ補  
助スルト云フコトハ相當金額ヲ要スル  
モノト思フノデアリマス、然ルニ之ヲ  
十萬圓ト云フコトニ限ツテ此豫算ハア  
ルノデアリマスガ、斯ウ致シマスト、全  
國的ニ此十萬圓ト云フモノヲドウ云フ  
風ニ分布サレルノデアルカ、或ハ又大  
都市ニ限ツテ十萬圓ヲ補助スルノデア  
ルカ、サウ云フコトヲ一ツ御尋シタイ  
ト思ヒマス、一ツソレダケ御答ヲ願ヒ

○長岡政府委員 只今ノ筒井君ノ御質  
ニ依リマスト云フト、精シイ數字ヲ申  
上ゲテモ差支ゴザイマセヌガ、大體二  
十圓アリマスレバ、一世帶一週間内外  
ノ生計ヲ維持スルコトガ出來ル、又生  
計費ト共ニ絶對的ニ必要デアリマス醫  
務費ニ付キマシテモ、先ヅ二十圓アレ  
ハ唯内部ノコトデゴザイマシテ、政黨  
内閣ノ時代ニナリマスト、事務官ナル  
モノハ全ク唯大臣政務官ノ命令ヲ受ケ  
テ、機械的ニ決マッタ方策ヲ條文ニ書現  
ハスト云フダケノ極ク輕イモノデアリ  
マス、吾ミガドウ云フ考ヲ持ツテ居ルト  
云フヤウナ内部ノ事情ヲ申上ゲマシテ  
モ、是ハ御参考ニナルマイト考ヘマス、  
ノ御考トガ一致シマシテ、閣議ニ容レ  
要スルニ内務大臣ノ御考ト、大藏大臣  
ラレタ其方針ヲ吾ミガ過去ノ立法的技  
術ノ經驗ヲ利用シテ條文ニ拵ヘタト云  
フダケニ過ギナイノデアリマス、金融  
死亡診斷書ガ一圓、僧侶ノ讀經代、若ク  
ハ神宮ノ謝禮ガ二圓乃至五圓ト云フコ  
トニ相成ツテ居リマシテ、最低限度十六  
圓五十錢位ニ相成リマスケレドモ、此  
外文字ノナイ者ハ埋葬認可證ヲ取リマ  
ス際ニ、代書料二十錢位ヲ支拂ヒマス、  
又如何ニ貧困デアリマシテモ御通夜ノ  
時ニ菓子トカ茶ヲ出スト云フコトモア  
リマスカラ、ソレ等ノ根據ニ依リマシ  
テ二十圓ト云フコトガ、工場法及ビ健  
康保險法ノ埋葬手當ノ金額ニナッテ居  
リマス、又下層階級ノ分娩費ニ付キマ  
シテモ、産婆ノ謝禮、產衣、襁褓等、子供  
ノ生レマシタニ付テノ衣衣類ノ費用ト云  
フヤウナモノヲ加算致シマスト、約二

局デ行ハレマシタ細民地區ノ生計調査  
ニ依リマスト云フト、精シイ數字ヲ申  
上ゲテモ差支ゴザイマセヌガ、大體二  
十圓アリマスレバ、一世帶一週間内外  
ノ生計ヲ維持スルコトガ出來ル、又生  
計費ト共ニ絶對的ニ必要デアリマス醫  
務費ニ付キマシテモ、先ヅ二十圓アレ  
ハ唯内部ノコトデゴザイマシテ、政黨  
内閣ノ時代ニナリマスト、事務官ナル  
モノハ全ク唯大臣政務官ノ命令ヲ受ケ  
テ、機械的ニ決マッタ方策ヲ條文ニ書現  
ハスト云フダケノ極ク輕イモノデアリ  
マス、吾ミガドウ云フ考ヲ持ツテ居ルト  
云フヤウナ内部ノ事情ヲ申上ゲマシテ  
モ、是ハ御参考ニナルマイト考ヘマス、  
ノ御考トガ一致シマシテ、閣議ニ容レ  
要スルニ内務大臣ノ御考ト、大藏大臣  
ラレタ其方針ヲ吾ミガ過去ノ立法的技  
術ノ經驗ヲ利用シテ條文ニ拵ヘタト云  
フダケニ過ギナイノデアリマス、金融  
死亡診斷書ガ一圓、僧侶ノ讀經代、若ク  
ハ神宮ノ謝禮ガ二圓乃至五圓ト云フコ  
トニ相成ツテ居リマシテ、最低限度十六  
圓五十錢位ニ相成リマスケレドモ、此  
外文字ノナイ者ハ埋葬認可證ヲ取リマ  
ス際ニ、代書料二十錢位ヲ支拂ヒマス、  
又如何ニ貧困デアリマシテモ御通夜ノ  
時ニ菓子トカ茶ヲ出スト云フコトモア  
リマスカラ、ソレ等ノ根據ニ依リマシ  
テ二十圓ト云フコトガ、工場法及ビ健  
康保險法ノ埋葬手當ノ金額ニナッテ居  
リマス、又下層階級ノ分娩費ニ付キマ  
シテモ、産婆ノ謝禮、產衣、襁褓等、子供  
ノ生レマシタニ付テノ衣衣類ノ費用ト云  
フヤウナモノヲ加算致シマスト、約二

十圓ト云フコトニナッテ居リマス、健康  
保險法ニ於キマシテモ労働者ノ分娩手  
當トシテハ二十圓ト相成ツテ居リマス、  
先づ下層階級ノ一口ノ貸付金ハ二十圓  
ハ色ニナ案ガアツタノデハナイカト云  
フヤウナ御尋デゴザイマシタガ、是ハ  
無論色ニ事務官ノ問ニハ其面ノ異ナル  
如ク色ニ意見モゴザイマセウ、併シ是  
ハ唯内部ノコトデゴザイマシテ、政黨  
内閣ノ時代ニナリマスト、事務官ナル  
モノハ全ク唯大臣政務官ノ命令ヲ受ケ  
テ、機械的ニ決マッタ方策ヲ條文ニ書現  
ハスト云フダケノ極ク輕イモノデアリ  
マス、吾ミガドウ云フ考ヲ持ツテ居ルト  
云フヤウナ内部ノ事情ヲ申上ゲマシテ  
モ、是ハ御参考ニナルマイト考ヘマス、  
ノ御考トガ一致シマシテ、閣議ニ容レ  
要スルニ内務大臣ノ御考ト、大藏大臣  
ラレタ其方針ヲ吾ミガ過去ノ立法的技  
術ノ經驗ヲ利用シテ條文ニ拵ヘタト云  
フダケニ過ギナイノデアリマス、金融  
死亡診斷書ガ一圓、僧侶ノ讀經代、若ク  
ハ神宮ノ謝禮ガ二圓乃至五圓ト云フコ  
トニ相成ツテ居リマシテ、最低限度十六  
圓五十錢位ニ相成リマスケレドモ、此  
外文字ノナイ者ハ埋葬認可證ヲ取リマ  
ス際ニ、代書料二十錢位ヲ支拂ヒマス、  
又如何ニ貧困デアリマシテモ御通夜ノ  
時ニ菓子トカ茶ヲ出スト云フコトモア  
リマスカラ、ソレ等ノ根據ニ依リマシ  
テ二十圓ト云フコトガ、工場法及ビ健  
康保險法ノ埋葬手當ノ金額ニナッテ居  
リマス、又下層階級ノ分娩費ニ付キマ  
シテモ、産婆ノ謝禮、產衣、襁褓等、子供  
ノ生レマシタニ付テノ衣衣類ノ費用ト云  
フヤウナモノヲ加算致シマスト、約二

半額ダケ國庫ヨリ補助致シタイト云フ  
コトニ相成リマシタ、又其配分ハ如何  
ニスルカト云フ御尋デアリマシタガ、  
今日迄マダ補助ノ申請ノ書類ハ揃ツテ  
居リマセヌ、是ハ法案ナリ豫算ナリ通  
過致シマセヌト分リマセヌケレドモ、  
大都市ニ集中スル農村ニダケスルト云  
フコトナシニ、補助ノ申請ノアリマシ  
タ時ニ、緩急前後ヲ見計ラヒマシテ、適  
當ニ配分致シタイ、大體申請ハ十箇所  
位ト云フ見當デ居リマス

○筒井委員 尚ホ伺ヒタイノデスガ、  
先程提案ノ理由ヲ御述ニナリマシタ中  
ニ、從來ノ私營質屋ノ改善ニ資スルト  
云フ御説明ガアリマシタガ、從來ノ營  
業者ハ今日ノ時代ニドウ云フ所ガ適セ  
ナインデアルカ、斯ウ云フコトヲモウ  
少シ詳シク承リタイ

○長岡政府委員 先程申上グマシタノ  
ハ、從來ノ質屋ニ改善ヲ加ヘルト云フ  
コトノミニ依テ、缺陷ヲ補フト云フコ  
トモ一ツノ方法デアルケレドモ、ソレ  
ヨリモ寧ロ公益質屋ヲ造ッタ方ガ宜カ  
ラウト云フ理由ヲ申上グタノデゴザイ  
マシテ、從前ノ質屋ノ缺點ト致シテ居  
ル所ハ色ニゴザイマス、色ニゴザイマ  
スルガ、要スルニ利子ガ高イト云フコ  
トガ一ツデアラウト考ヘマス、利子ハ  
無論利息制限法ノ制限モゴザイマス、  
質屋取締法ノ制限モゴザイマス、又店  
舗ノ見易キ場所ニ利子ヲ掲ゲテ置ケト  
云フ規定モゴザイマスガ、内實ニ於テ

ハソレガ行ハレテ居リマセヌ、是ハ甚  
ダ露骨ナ申シヤウデゴザイマスガ、質  
入ヲ爲スッタ御經驗ノナイ御方ニハ分リ  
級ノ金融ノ困ルノハ、年ノ暮トカ、月ノ  
終リトカガ、多イノニアリマス、大晦日  
ニ質ヲ入レマシテ元日ナリ二日ナリニ  
ソレヲ出ス場合ニ、民法ノ期間ノ計算  
ニ依レバ二日分カ三日分ノ利子ヲ支拂  
ヘバ宜シケレドモ、其場合ニハ二箇  
月分ヲ取ルノガ普通デアリマス、一箇  
月ノ利子ニシテヤル所ハ寧ロ少數デア  
リマス、ソレデ民法通リノ利子ヲ取ル  
ト云フ所ハ絶對ニ無イト申上グモ宜  
シカラウト思ヒマス、是ハ甚ダオカシ  
イヤウデアリマスケレドモ、ソレガ古  
來ノ習慣ニナツテ居リマシテ、此爲ニ小  
口ノ貸付金額ニ對シテハ利子ガ却テ非  
常ニ高クナリマス、最モ極端ナ例ヲ申  
上グマスト、日傭労働者ガ朝ニナツテ電  
車賃ガ無イ、晝飯代モ無イト云フトキ  
ニ、朝飯ヲ炊イタ釜ヲ質屋ニ入レテ、電  
車賃ト晝飯代ニ三十錢借リル、ソシテ  
夕方一圓五十錢ノ金ヲ儲ケテ來テ此釜  
ヲ受出スト云フトキニハ、矢張一錢利  
子ヲ取ラレマス、是ハ通貨ノ關係デ已  
ト云フヤウナ事モゴザイマスケレド  
モ、多ク質屋ニ參リマスト、火災、盜難、  
鼠喰ヒ、蟲喰ヒ等ノ質物ニ對シテハ、質  
ノトシテ泣寝入ニナラナケレバナラナ  
イ、民法ノ所謂善良ナル管理者ノ注意  
ト云フヤウナ事モゴザイマスケレド  
モ、多ク質屋ニ參リマスト、火災、盜難、  
ト云フヤウナ事モゴザイマスケレド  
モ、下層階級ノ者ハ僅カノ物ノ爲ニ訴  
済ニ手緩イヤリ方デアルマイカト思ヒ  
マス、此點ニ付テ更ニ伺フテ置キタイト  
端ノ場合ヲ考ヘルトサウ云フヤウナコ  
ト

○長岡政府委員 私ノ申上ゲマシタノ  
ハ、在來ノ質屋ノ缺點ハ何デアルカト  
云フ御話デゴザイマシタカラ、利子ノ  
高イコト、民法ノ期間ノ計算ガ習慣上  
守ラレテ居ラヌコト、倉庫ノ設備ガ惡  
イコト、其他ニモアリマスガ、主トシテ  
其點ヲ申上ゲマシタガ、民法ノ計算ガ  
守ラレテ居ラヌニモ拘ラズ、何故取締  
ラヌカト云フ意味ノ御話デアリマシタ  
ガ、要スルニ是ハ私法上ノ貸借關係デ  
公法的ノモノデハゴザイマセヌ、民法  
ノ個人ト個人トノ契約自由ノ原則ニ基  
イテヤツテ居ル事ニ付テ、政府ガ之ヲ取  
締ルト云フコトハ、是ハヤツテ宜シイカ  
宜シクナイカモ疑問デアラウト思フ、  
若シヤルトシテモ、個々ノ此契約ノ内  
容ニ立入ラテ干渉スルコトガ、實行上出  
來ルカ否カ、是モ疑問デアラウト思ヒマ  
ス、ソレデ公益質屋ニ依テ從來ノ質屋  
ノ利子ヲ下グル目的ガアルノデハナイ  
カト云フヤウナ御話デゴザイマシタガ、  
是ハ即座ニ豫期ハ致シテ居リマセヌ、  
繰返シテ申上ゲマスヤウニ、私營質屋ハ  
私營質屋トシテ下層階級ノ金融機關ト  
シテ相當ノ働キヲ爲シ、相當ノ功績ヲ  
持ツテ居リマスカラ、之ヲ撲滅スルトカ  
壓迫スルトカ云フ考ハゴザイマセヌ、  
唯數ニ於テモ足ラヌシ、殊ニ農村漁村  
等ニ於テハ、質屋ガ普及シテ居リマセ  
ヌノデ、其缺點、足ラザル所ヲ公益質屋  
デ補ハウト云フノデアツテ、兩者並ビ進  
ムト云フニ外ラヌノデアリマス、之

ニ依テ質屋ニ非常ナ不利益ヲ與ヘルモノトハ考ヘテ居リマセヌ、殊ニ豫算マシテ、現在五十數箇所アル上ニ、毎年十ヤ二十殖エテ參リマシテモ、是ハ質屋ヲ壓迫スル、若クハ質屋ノ利子ヲ制限スルト云フヤウナ十分ノ効キヲスルモノトハ實ハ豫期シテ居リマセヌ、此點ニ付テ甚ダ不徹底デアリマス、モット大ニ豫算ヲ計上シ、徹底的ニヤッタラ宣イデハナイカト云フ御叱モアルカモ知レマセヌガ、サウ言ハレマスレバ一言モ無イノデアリマス、併シ是ハ漸進主義デ、漸次之ニ依テ下層階級ノ金融ヲ圖ラウト云フコトデアッテ、是ガ爲ニ一足飛ビニ下層階級ノ金融状態ガ一時ニ好クナルトハ思ハナイノデアリマス、併シ漸進主義ヲ以テ年々十箇所ナリ、二十箇所ナリヲ設ケテ行キマシテ、現在ノ質屋ニ對シテ、大イナル打擊ヲ與ヘナイト同時ニ、質屋改善ニ付テ多少ノ效果ハ現ハレルト思ヒマシテ、之ニ依テ下層階級金融ノ爲ニ漸進主義ヲ以テ進ミタイト云フ政府ノ考デゴザイマス

爲ニ非常ナ利益ヲ圖ルト云フ意味デ御設置ニナルヤウデアルアリマスガ、洵ニ名分上カラ言ヒ、社會上ノ見地カラ言フテ結構ナコトデアルヤウニ思ハレマスガ、其内容其他ニ付テハ洵ニ不備ノ點ガアリ、又利益ニナラヌト云フコトヲ私ハ申シタイ、此本案ヲ提出ナサル前ニ當ッテ、ナゼ斯ウ云フコトヲ御研究ニナラナカツタカト云フコトヲ承リタイ、本案ヲ御出シニナルナラバ、寧ロ從來ヨリ爲シ來ツタ營業者ニ對シテ、相當ナ低利資金ヲ貸シ與ヘテ、質屋業者ヲ根本カラ取締ル規則ヲ嚴重ニシテ、之ヲ厲行スルヤウニ爲ス御考ニナラナカツタカト云フコトヲ伺ヒタイ、此處デ十萬トカ十五萬トカ云フ資本ヲ出スコトバ、一面カラ言ツタナラバ民業壓迫ノ法案ヲ御出シニナツテ、從來ノ營業者ノ事ヲ考慮ニナラナカツタ云フコトヲ私ハ遺憾ニ思ヒマス、若シ此事業ヲ社會ニ有意義ニ行ハレルナラバ、此低利資金ヲ業者ニ貸與ヘテ、サウシテ十分ナル取締規則ヲ設ケルコトガ私ハ第一ノ點デナカツカ、其點ニ付テ賢明ナル局長ハナゼ御考慮ニナラナカツタカト云フコトヲ伺ヒタイ、ソレカラ第二ニ伺ヒタインハ、此第四條デアリマスルガ、局長ノ御説明ハ遺憾千萬ニ考ヘタノデアリマス、局長ハ此二十圓ニ限定シタ事柄ハ、是ハ忌ムベキコトデアルケレドモ、葬儀ノ費用或ハ出產ノ時ノ費用ト

云フモノヲ標準ニシテ決定サレタト云  
フコトハ洵ニ私ハ遺憾ニ考ヘマス、社  
會民衆ノ爲ニ最モ有意義ニ考ヘルナラ  
バ、ナゼ日本全國ノ質屋ノ此民衆ノ入  
質ノ統計表ヲ取ツテ、御研究ニナツテ御  
定メニナラナカツタカ、今日ノ日本全國  
ノ入質ヲ調査致シマスレバ、七圓何ガ  
シニナツテ居リマス、此質屋ト云フモノ  
ハ只今局長ノ御説明ニ依ルト、晦日ア  
タリデナケレバ質屋ト云フモノ、必要  
ガナイヤウニ感ゼラレテ居リマスガ、  
質屋ハ晦日ニモ要リマスケレドモ、平  
常質屋ノ入質ハ晦日ニハ少イノデアリ  
マス、常ニ此民衆ハ時々刻々此質屋ヲ  
利用スルノデアリマス、故ニアナタガ晦  
日ト云フヤウナ事柄ノ解釋ハドウ云フ  
コトヲ標準ニナサレタカト云フコトヲ  
伺ヒタイノデアリマス、ソレカラ今一  
ツ序デニ伺クテ置キタイト思ヒマスガ、  
第一條ニ付テ私ハ局長ニ伺ヒタイ、市町  
村又ハ公益法人ト云フコトニナツテ居  
リマスガ、市町村ト申シマシタナラバ、  
市町村長ト云フコトニナルダラウト思  
ヒマス、又公益法人ト云フコトニナリ  
マスレバ或ハ組合トカ或ハ協會トカ云  
フモノガ行フコトニナリマセウガ、如  
何ニ金融ト申シマシテモ、面目ト體面  
ト云フコトガアルノデアリマス、市長  
サンノ所へ行ケバ質ヲ取フテ下サルト  
云フ事柄ハ、面目上善イカ悪イカト云  
フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、質ヲ置  
クヤウナ人ハ、却テ社會ニ對シテ質ヲ

置カヌト云フヤウナ人ガ多ク質ヲ置カ  
ナケレバナラヌ、然ルニ協會長トカ組  
合長トカ或ハ村長トカ市長ノ所ヘ持ツ  
テ行ツテ、私ノ質ヲ取ツテ下サイト云フ  
事柄ハ餘程困難デアリハシナイカ、斯  
ウ云フコトハ十分御調査ニナツテ居リ  
マスカ、先ツ此三點ダケヲ伺ツテ置キマ  
シテ又質問ヲシタイ

○長岡政府委員 本田君ノ御質問ニ對

シテ順次御答申上ゲマス、先程申上ゲ  
マシタヤウニ、從前ノ質屋ニ低利資金ノ  
ヲ供給シテ、其改善ヲ圖ル方法ハ考慮  
致シテ見マシタ、是ハ獨リ質屋ノミノ  
問題デアリマセヌ、斯ウ云フ事業ニナ  
リマスト、既設ノ者カラ苦情ノ出マス  
コトハ獨リ質屋ニ限リマセヌ、職業紹  
介所ヲ設ケマストキニハ、附近ノ口入  
業者カラ苦情ガ出マス、公設市場ヲ造  
リマストキニハ、其附近ノ小賣商人カラ  
ラ苦情ガ出ル、食堂ノ如キモ公設デヤリ  
マスト、其附近ノ飲食店營業者カラ苦  
情ガ出マスガ、是モ一應考ヘテ見マシ  
タケレドモ、是ハ社會事業ニ對スル一ツ  
ノ方策デアリマシテ、國家ノ低利資金  
ヲ供給シマス場合ニハ、今迄ハ直接個  
人ニ貸付ケテ居リマセヌ、外ノ例ハ知  
リマセヌガ、社會事業ニ付テハ直接個  
人ニ貸付ケテ居リマセヌ、府縣ヲ債務  
テ府縣ガ法人ニ對シテ貸付ケル方法ヲ  
執ツテ居リマス、小賣業者ニ資金ヲ貸  
ス、或ハ口入業者ニ低利資金ヲ融通シ

テ、此口入ノ手數料ヲ安クスルト云フ  
コト、同ジク、質屋ニ低利資金ヲ供給  
シテ利子ノ低減ヲ圖ルト云フコトモ到  
底實行ガムヅカシウゴザイマスシ、手  
續モ到底ムヅカシイ、此點ハ十分考慮  
ヲ致シマシタケレドモ、此低利資金ノ  
融通ニ依テ、今迄ノ質屋ヲ改善セシメ  
ルト云フ方法ハ餘程困難デアリマス、  
又營業ニ付キマシテ嚴重ナル取締方法  
ヲ設ケルト云フ御注意ガゴザイマシタ  
ガ、是モ警察官ヤ町村吏員ガ、營業ニ付  
テ十分監督ヲスルコトハ中ミムツカシ  
イノデアリマス、仍テ此方法ヲ執ラズ  
シテ、營利ヲ離レタ公益法人若クハ市  
町村ヲシテ扱ハセル法案ヲ提出シタ次  
第デアリマス、尙ホ第二ノ御質問ノ全  
國ノ質屋ノ平均ガ七圓内外デアルト云  
フコトハ、其通りデアルト承知ヲシテ  
居リマス、此處ニ掲ゲマシタノハ平均  
額デゴザイマセヌ、最高ガ三百圓トシテ  
イノデアリマス、最高ガ三百圓トシテ  
キマシテモ、サウ云フ貸付ハ少イ、平  
均ハ低イノデアリマス、營利質屋ニ於  
キマシテモ市内デハ最高一千圓ト云フ  
貸付ガゴザイマス、郡部デ最高八百圓  
ト云フノガゴザイマス、併ナガラ是ハ  
最高ノ貸付デアリマス、平均ハ矢張リ  
ハ例ニ申シマシタノデ、其他ノ時ニハ  
質屋ノ入用ガナイト云フコトヲ私ハ申  
上ゲタ積リデゴザイマセヌ、此點ニ付

シテ置キマス、ソレカラ公益法人若ク  
事柄ハ餘程困難デアリハシナイカ、斯  
ウ云フコトハ十分御調査ニナツテ居リ  
マスカ、先ツ此三點ダケヲ伺ツテ置キマ  
シテ又質問ヲシタイ

○長岡政府委員 本田君ノ御質問ニ對

シテ置キマス、ソレカラ公益法人若ク  
事柄ハ餘程困難デアリハシナイト思フ、其點ハ餘リ  
テモ一向差支ナイト思フ、其點ハ餘リ  
ウ云フコトハ十分御調査ニナツテ居リ  
マスカ、先ツ此三點ダケヲ伺ツテ置キマ  
シテ又質問ヲシタイ

○長岡政府委員 只今ノ四ツノ御質問

ニ對シテ順次御答ヲ申上ゲマスガ、第

ノ生業資金ノコトデアリマス、從來ノ質屋ハ下層金融機關トシテ非常ニ力ガアツタ云フコトハ先程申上ゲタ通リデアリマスガ、併ナガラ從來ノ質屋ノ缺點ハ消費經濟ノ方ニ主トシテ役ニ立ツテ、生産經濟ノ方ニハ殆ド役ヲナシテ居ラヌト云フ遺憾ナ點ガアル、只今マデノ貸付ヲ見マスト、消費經濟ガ九割内外ト記憶シテ居リマスガ、成ベク下層階級ニ金融上ノ便ヲ與ヘテ生産資金ヲ與ヘルト云フコトハ望マシイノデアリマスガ、今日小賣商人ヲスルニモ中ニ金ガ要リマス、淺草公園デ鳩ノ豆賣ヲシテモ、相當ノ權利金ガ要リマスノデ、餽餉蕎麥ノ行商ガ百五十圓、雜誌ノ露店ノ資本ガ八十圓、オデンノ行商ガ百七十圓、煮豆製造ノ行商ガ百三十七圓、其外澤山ゴザイマスガ略シテ置キマス、是ハ東京市内ノ露店デアリマスカラ、地方ト都會トハ幾ラカ達ヒマセウガ、何レモ此位ノ資本ヲ要スル、又農村ニ於キマシテモ自作農若クハ小作農トシテ農業經營ヲ致シマスニ付テモ、相當農具等ガ要リマス、漁村ニ付テ見マシテモ一例ヲ申上グマスト、打瀬網ノ如キハ百四十五圓、流刺網ガ四百五圓、手繩網ガ百三十四圓、圍刺網ガ三百二十二圓、簡單ナ漁船ト雖モ二百七圓位ハマシテモ、朝鮮牛トシマシテモ最低百圓位ヲ要シマス、其外色ミナ例ガゴザ

イマスガ煩シウゴザイマスカラ略シテ置キマスガ、成ベクサウ云フヤウナ生産資本ヲ與ヘル、公益質屋ヲサウ云フ生産資金ニ役立タセルヤウニシタイト云フノガ希望デゴザイマス、是ニハ百圓ト云フヤウナ多額ノ質草ヲ持ッテ居リマス細民ハアリマセヌカラ、質物ダケデハ足リナイカ知レマセヌガ、地方ノ農村漁村等ニ於キマシテ、町村長ナリ方面委員ガ見マシテ、此人間ハ非常ニ勤勉著實デ確カナモノデアル、之ニ一定ノ事業資金ヲ與ヘテモ、將來確實ニ返セルト云フヤウナ場合ニ於テハ、命令ノ定ムル所ニ依テ、質物以上ニ對人信用ニ依テ貸付ラシテ、只今マデノ缺點デアツタ生業方面ニ貸ス途ヲ開キタイト云フノデ、此生業資金ト云フノヲ置キマシタノデアリマス、利子ノ計算ノコトハ地方ニ依リマシテ年一割五分ダケデハ到底經濟ガ取レヌ、例ヘバ沖繩縣ノ如キハ非常ニ金利ガ高ウゴザイマシテ、今ハ銀行モ破産ノ状態デ、金融ノ如キハ非常ニ困難ヲ致シテ居リマシテ、金貸ノ利率ナドモ非常ニ高クナッテ居リマス、隨テ町村モ非常ニ疲弊シテ居リマシテ、之ガ爲ニ資金ヲ出スト云フ餘裕モアリマセヌ、サウ云フ處デ年一割五分以下デナケレバ公益質屋ヲヤツテハイカヌト云フコトニナリマスカト、出來マセヌノデ、ソレデハ却テ角ヲ矯メテ牛ヲ殺スコトニナリマスカラ、沖繩縣ノ如キ特別ノ事情アル處ニ於キ

マシテハ、多少利率ヲ増シマシテモ、公  
益質屋ノ事業ヲ許シタイト云フ考デ、  
タガ、御承知ノ通リ民法デハ一部辨濟  
ヲ認メテ居リマセヌ、債權者ガ完全ナ  
履行ヲ要求シマシタ時ニハ、債務者ハ  
一部辨濟ハ出來マセヌケレドモ、斯ウ  
云フモノハ全部金ヲ持ツテ來イト云フ  
必要ハナイノデ、吾々モ經驗ガゴザイ  
マスガ、小人壁ヲ抱イテ罪アリデ、二圓  
借リタ所ヘ一圓金ガ出來タノデ返シテ  
置カウト思ツテモ、懷中ニ入レテ置クト  
ツヒ使フテシマフト云フコトガゴザイ  
マス、ソレデ公益質屋カラ借リテ三圓  
出來タ五圓出來タ、其三圓出來タト云  
フ時ニ一部返濟ヲ認メテヤリマシテ、  
其場合ハ親父ノ著物ト子供ノ著物ヲ質  
ニ入レテ居ル、子供ノ著物ダケ五圓ノ  
質ニナツテ居ルト云フ時ニ、其子供ノ著  
物ノ二圓ハ殘シテ置イテ、三圓ヲ返濟  
シテヤル、無論民法ノ原則ニ依リマシ  
テ一部辨濟ノ場合ニハ、先づ其ノ月迄  
ノ利息ヲ辨濟スルト云フコトニナリマ  
セウケレドモ、一部辨濟ヲ認メテ置キ  
マシタ方ガ却テ金融狀態カラ便利デア  
ラウト云フヤウニ考ヘテ居リマス、競  
賣ノ手數料ハドウ云フモノカト云フ御  
話デアリマシタガ、是ハ御承知ノ通り  
今迄ハ私營質屋ニ於キマシテハ、殘餘  
ガアツテモ返還セズ、又不足ガアツテモ

法ニ依テ認メラレテ居リマシタガ、此追求シナイト云フコトハ、公益質屋ニ於テモ其通リヤリタイノデアリマスガ、残餘ガアッタ時ニハ質置主ニ返還シテヤル方ガ社會政策上至當デアルト云フ考カラ、其場合ニハ公入札ニ付スルコトニナツテ居リマス、其時ノ廣告料トカ、或ハ残餘ノアッタ場合ハ元ノ質置主ニ通知スル葉書代トカ、サウ云フヤウナ手數料ヲ差引キマシテ、殘餘ノ部分ヲ質置主ニ返還シタイト云フ積リデ手數料ノ規定ヲ設ケタノデアリマス○本田委員 設置ノ場所デアリマスガ、是ハ大凡細民窟ノ附近ト云フヤウナ事ヲ聞イテ居リマスガ、是ハ豫メ御決定ニナツテ居リマスカ、其點ヲ伺ヒタイト思ヒマス、ソレカラ其前ニ當ツテ斯ウ云フコトヲオヤリ下サルト云フコトハ結構ナ事デアルガ、私ハ十分目的ヲ達セラタイト思ヒマスガ、兎モ角モ斯ウ云フコトヲオヤリ下サルト云フコトヲ申上ゲマス、方法ガ惡イト云フコトヲ申上ゲマス、社會政策ノ上ニ於テ十分此目的ノ貫徹ヲ期スルト云フコトナレバ、私ガ申上ゲタヤウニ公設質屋又質屋全般ニ低利資金ヲ貸シテ、十分此取締ヲシテ眞ノ目的ヲ達セラレルヤウニナサル御覺悟ヲ懷カレテ居ルカ、懷カレテ居ラナイカヲ伺ヒタイ

行キマセヌケレドモ、政府ノ方針トシテハ成ベク細民窟ノ中ニ造リタイト考居リマスガ、大都會ニ於テハ成ベク細民窟ノ眞中ニ置キタイ、東京市ノ公營質屋ノ例ニ依リ マシテモ、質屋ノ利用者ハ附近五丁半徑ノ人ガ多イ、五丁以上ノ距離ノ者ハ其利用率ガ減ッテ居リマス、ソレデ成ベク細民窟ノ中ニ造ラウト云フ方針デアリマスガ、是ハ何レ訓令カ命令通牒カラ以テ府縣ナリ市町村ナリニ其方針ヲ徹底セシメル積リデゴザイマス、ソレカラ低利資金ノ事ヲ重ネテ御尋デゴザイマスガ、是ハ先程申上ゲタヤウニ、貸付ガ困難デアル、債権ノ確保ガムヅカシイト云フコト、又營利ヲ目的トスル質屋ニ對シテ申多數ノ貸付ニ對シテ、私法上ノ貸借關係ニ立入ツテ監督スルコトハムヅカシイ、只今ノ所ソレハ見合セテ居ルト云フコトヲ申上グマシタガ、サウ云フ缺點ニ付テ完全ナル救濟方法デモ出來レバ、其方面ノ取扱ハ何モ決定シテ居リマスガ、將來ハ考慮ヲ致スコト、存ジマス

屋其モノハ御承知ノ通り細民ト申シマ  
スカ、庶民階級ノ金融機關ノ其中デモ、  
更ニ公益質屋ヲ設ケテ細民ノ金融機關  
トスル以上ハ、民營ノ質屋ガヤラナイン  
極ク細民階級ヲ目指スモノデアラウト  
私ハ解シマス、然ルニ此案ヲ見又御説  
明ニ依リマスルト、色ニノ場合ニ二十  
圓位ノ金ハ要ル、其要ル金ノ高カラ云フ  
フト、私ハ二十圓デナク三十圓モ要ル  
デアラウ、更ニ多ク五十圓、百圓モ欲シ  
イデアリマセウ、併シ要ルカラト云フ  
其金ヲ標準トスベキモノデアラウカド  
ウカ、細民——極貧ノ者ヲ目安ニシテ  
質ヲ取ル場合ニ、御承知ノ通り無擔保  
デ貸付ケル譯デナイ、要ルカラ要ルダ  
ケノモノヲ貸シチャルノデナイ、質草  
ガドノ位ノモノデアルカト云フコトガ  
トヽ、一回ノ質入ト云フコトヽ、政府デ  
ハ同ジヤウニ見テ居ラレルノデアルマ  
イカ、一度質ニ入レル場合ニ、之ヲ一口  
ト見テ居ラレルノデアルマイカ、御承  
知ノ通リ假ニ時計ト鎖ヲ持ツテ行ツテ、  
之ヲ一口トスル事モ出來マス、或ハ之  
ヲ分ケテ時計ヲ一口トシ鎖ヲ一口トス  
ルコトモ出來ル、デアルカラ假ニ二十  
圓ノ金ガ要ルトシテモ、是ハ矢張二品  
ヲ持ツテ行ケバ二口ニ出來ル、三品持ツ  
テ行ケバ三口ニ出來ル、デアルカラ是  
ハ矢張一口ト云フヨリモ、寧ロ一品ニ  
付テ一回デナイカト思ヒマス、此點ガ

政府デハ一口ト云フノヲ一度ニ三品持フテ行フテモ一口ト解釋サレテ居ルガ、來ル、ダカラ二十圓ト云フノハソレダケハ何トカ融通シテヤラナケレバナラヌトシテモ、一回ノ質ガ一品デ二十圓トスレバ、サウ云フモノハ絹物デモ可ナリ良イ物デアル、或ハ時計デモ金時計ノヨリト良イモノデアル、今日ハ御承知ノ通り三十圓カ四十圓デ新シイ金時計ガ買ヘル、ソレ故二十圓ノ金ガ借りラレルト云フ金時計ハ小百圓ノ金時計デアル、絹物デ言ヘバ七八十圓ノ値打ノアル絹物デアリマセウ、斯ウ云フ物ヲ持フテ居ル者ハ、只ノ極貧ノ者デナクテ、同ジ貧民デモ稍良大方ニ屬スル方デ、斯ウ云フ物ヲ公益質屋デ扱フト云フコトニナルト、只今政府委員ガ仰シヤツタ公益質屋ハ民營ノ質屋ヲ犯サナイ、又民營ノ方ハ公益ノ方ヲ犯サナイト云フコトガ、是デハ徹底シナイヤウニ思ハレマス、デアリマスカラ一口ト云フ意味ガ只今私ノ解シタヤウニ二點持フテ行フテモ三品持フテ行フテモ之ヲ一口トスルコトモ出來ルガ、又分割シテ三品ナラ三口トシテ預ケルコトモ出來ルト私ハ解シテ居リマスガ、政府ハドウ云フヤウニ御考デアリマスカト〇長岡政府委員 公益質屋、私營質屋ガ竝ビ存スルト云フ方針デアルカト云フコトニ付テハ、先程申上ゲタヤウニ矢張竝ビ存シテ大ナル打撃ヲ私營質屋

ザイマセヌ、曾テ職業紹介法ガ出来マ  
シタ時ニ、口入業者ガ今ニモ口入業者  
ハ亡ビルカノヤウニ叫ンデ居リマシタ  
ガ、事實今日二百何十箇處公營ノ無料  
ノ紹介所ガ出來テモ、私營ノ口入業ハ  
非常ナ打撃ヲ受ケテ居ラヌト同ジデハ  
アルト思ヒマス、ソレカラ質草トシテ  
下層階級ノ者ガ二十圓ニ該當スル物ヲ  
持ツテ居ラヌト云フ御尋デゴザイマシ  
タガ、是ハ案外ナモノデアリマシテ、私  
共公益質屋ヘ行ッテ見テ驚イタノデア  
リマス、コンナ物ヲ労働者ガ持ツテ居ル  
カト云フコトヲ能ク尋ネルノデアリマ  
スガ、矢張好景氣時代ノ金廻リノ好イ  
時ニ相當ノ物ヲ買ツテ居ツテ、ソレヲ今  
日デハ唯一ノ金融ノ擔保トシテ質ニス  
レタリ出シタリシテ居リマス、相當ナ  
物ヲ持ツテ居リマス、ソレカラ元然ル  
ベキ人デ落ブレタト云フヤウナ者ハ、  
中ミ祖先傳來ノ手放シ難イ物ヲ質入  
レテ糊口ヲ凌グ者モ相當ゴザイマ  
ス、殊ニ都會ノ狀況バカリ申上ゲテ居  
リマシタガ、農村漁村ニ就テ見マシテアリ  
モ、農家ニ於テハ矢張困ッタ時ニ農具ヲ  
質ニ入レル、漁村ニ於キマシテハ百圓  
二百圓スル網ヲ質ニ入レルコトモアリ  
マス、決シテ二十圓ノ質草ニ當ル物ヲ  
細民ガ持ツテ居ナイト云フコトモ一概  
ニ斷定ハ出來ナイト考ヘマス、ソレカラ  
ラート口ト云フコトノ解釋ニ付テ御尋  
デゴザイマシタガ、是ハ此法案ニ於キ

マシテハ、一契約ト云フコトニ解シテ  
居リマス、御尋ノ時計ト鎖ト一緒ニ入  
レテモ一口デ、是ハ公益質屋ニ當嵌リ  
云ツテ居ル、羽織袴ヲ持ツテ來テ私營質  
屋へ入レルト、一枚ト勘定セズ、一口ト  
ト云ツテ居ル、要スルニ一回ノ契約ト云  
フ意味ニ解シテ居ル次第ゴザイマス  
○川口委員 只今案外高イ物ヲ細民ガ  
持ツテ居ルト云フコト、ソレカラ一口ガ  
只今御話ノヤウナモノト解シマシテ、  
斯ウ云フコトガアルノデス、俗ニ申ス  
日濟シ貸ガ、低利ノ資金ヲ融通シテ細  
民ノ膏血ヲ搾ル、一口ノ金高ガ多イト、  
細民窟ニ巣ヲ喰ツテ居ル高利貸ノ一部  
ノ者ガ、公益質屋カラ低利ノ資金ヲ  
融通シテ、之ヲ又細民ニ貸付ケテ、サウ  
シテ極貧者ノ膏血ヲ搾ルヤウナ場合ガ  
隨分アルヤウニ聞イテ居リマスガ、社  
會局デハ之ヲ御聞及ビニナツテ御調べ  
ニナツタコトガアリマセウカ、今迄ノ公  
益質屋デモ之ヲ認メテ居ルノデアリマ  
ス

アリマシテモ、博奕ヲ打ツ資本デモ、酒ヲ飲ム費用デモ貸シテ差支ナイ、併シ公益質屋ニ於キマシテハ、生計上已ムヲ得ザル費用カ生業資金トシテ貸出スモノ以外ニ、博奕ノ費用、酒ヲ飲ム費用、遊興費等奢侈ニ涉ル費用ハ貸サヌコトニ致シタイト思ヒマス、況ヤ生活サヌ積リデアリマス、從來ノ公營質屋ニ付テハ、私ハサウ云フ例ヲ聞イテ居リマセヌ、若シサウ云フコトガアッタラ甚ダ不都合デゴザイマスガ、私ノ聞イテ居リマシタノハ、横濱ノ市營質屋ガ眞金町遊廓ノ入口ニアツテ遊興費ヲ貸シテ居ルト云フ非難ガアリマシタ、取調べテ見マシタケレドモ、全然嘘デ、成程遊廓ノ入口ニアリマスケレドモ、其處ハ細民窟ノ在ル處デ、眞金町ノ遊廓ノ遊興費ヲ貸付ケテハ居リマセヌ、併シ萬一公益質屋ヲ利用シテ高利貸ヲ營ムヤウナ者ガアリマシタナラバ、是ハ嚴重ニ取締ヲシナケレバナラヌト考ヘテ居リマス

フモノダサウデス、況ヤ政府委員ノ述ベラレタヤウナ趣旨デ、公益質屋ガ出来テ居ル場合ニ於テ、生計上困ルトカ、或ハ生業資金ト云フヤウナコトヲ申シマセウガ、ソレヲ確カナル方法ハ政府ニ於テドウ云フ御考ガゴザイマセウカ、例ヘバ生活ノ費用、生業資金ニ要ルト云フノト、遊興費ニ使フヤウナモノト區別スルノハ、ドウ云フ方法ニ依ルノデスカ

○長岡政府委員 只今ノ御質問ハ洵ニ御尤ト存ジマスガ、此問題ハ能ク質屋取締法ノ十六條ノトキニ起ル問題デアリマス、質屋ハ質置主ガ質物ヲ入レル権利ガ有ルト確認シタ時デナケレバ、質ヲ取ツテハイカヌト云フ條文ニ關聯シテ、盜品若クハ遺失品ヲ質ニ取ツタナラバ、警察官ガ無償デ沒收シテ本人ニ還付スル、質屋ニ取ツテハ非常ニ痛イ所デアリマスガ、質ヲ置ク時ニ是ハ盜品ダ遺失品ダト斷ル馬鹿ハナイ、其品物ニ盜品遺失品ト云フ「レヅテル」ガ貼ッテアルノデハナイカラ、ドウシテ見分ケルカト云フト、ソコガ商賣道ニ依テ賢シデ、大概見分ケガ付ク、甚ダ卑近ナ例ヲ引イテ恐縮デアリマスガ、私不眞面目ナ意味デ申上ゲルノデハアリマセヌカラ御許シヲ願ヒマスガ、宿屋ノ番頭ヲ長クシテ居リマスト、若イ男女ノ同宿ガアル、是ハ本統ノ新婚旅行デアルカ、駆落者デアルカ、心中ニ來タモノカト云フコトガ一目シテ分ル、玄人カ素

人か服装デキチント見分ケカ付クト云  
フノト同ジデ、質屋ヲ長クシテ居リマ  
スト、盜品遺失品ヲ質ニ取ツテ警察官ニ  
没收サレタト云フヤウナコトハ殆ド無  
イ、殊ニ附近ノ細民部落ヲ對手ニシテ  
居リマスレバ、方面委員ナドガ注意致  
シマスカラ、質置主ノ平常ノ素行、家族  
ノ狀況ト云フヤウナコトモ分リマス、  
生計ニ困ルト云々テ遊興ニ行クト云フ  
ヤウナコトモ、只今ノ例デ略御想像ガ  
付クダラウト思ヒマス

○丸山委員 本法案ハ社會政策ヲ高唱  
セラレル今日ニ於テ、極メテ國民ノ歡  
迎スル所デアルト思フノデアリマス、  
唯折角公益質屋ト云フ名前デ生レタ此  
法案ガ、餘リニ其内容ガ貧弱デナカラ  
ウカ、貧民銀行トマデ云ハレルモノガ、  
茲ニ生レヤウト云フ時ニ於テ、是ダケ  
ノ内容デハ庶民ノ期待ニ背キハセヌカ  
ト云フコトヲ私ハ考ヘルノデアリマス  
カラ、此意味ニ於テ一二ノ質問ヲ試ミ  
タイノデアル、只今長官ハ十箇所ヲ以  
テ漸進主義デヤルト云フ御意見デアリ  
マスガ、十箇所ノ漸進主義ト云フヤウ  
ナ御方針ハ、ドウ云フヤウナ御方針デ  
アルカ、市町村ト公益法人トガ、各方面  
ヨリ補助ノ申請ノ出テ來タ場合ニ於テ  
大體ノ所ヲ選定スル場合ニ、如何ナル  
順序ニ依テ之ヲ御取ニナルカト云フコ  
トヲ御聽キシタイ、御答辯ニ依テ更ニ  
段々御伺シタイコトガアリマスガ、先  
づ是ダケヲ伺ヒタイ

○長岡政府委員 貧弱デアルト云フ御叱ニ對シテハ、洵ニ汗顏ノ至リト申上  
ゲルヨリ外アリマセヌ、私社會局ノ責任者ニナリマシテカラ既ニ二年以上ヲ  
經過シテ居リマスガ、其間如何ナル事ヲヤツタカト云フコトヲ自ラ顧ミマスル  
ト、實ニ冷汗膚ヲ潤スヤウナ感ガ致シマス、不徹底デアルト云フコトニ付キ  
マシテハ、洵ニ赤面ノ至リデアリマスガ、中ニ仕事ト云フモノハ思フヤウニ  
ガ、中ニ仕事ト云フモノハ思フヤウニ行カヌモノデアリマシテ、財政ノ關係モアリ、又世間ノ諒解ノコトモアリ、中  
中徹底的ニヤルト云フコトハ、私ノ微力ト云フコトモアリマスガ、此貧弱ト  
云フコトニ付テハ御詫ヲ申上ゲル外アリマセヌ、此十箇所ト云フコトヲ申上  
箇所デアツテ、新設ノ際ニハ臨時費ノ補助ガアリマス、其他ニ家ヲ造ッタバカリ  
デハ何ニモナリマセヌカラ、ドウシテモ一萬圓、二萬圓位ノ運轉資金ガ要リ  
マス、之ニ對シテハ將來四分八厘ノ利息資金ヲ運轉資金ノ方ニ融通シテヤル  
考デアリマス、次ニ法人ノ方ヲ先キニスルカ、市町村ノ方ヲ先キニスルカト  
云フコトデアリマスガ、要スルニ土地ノ事情、其邊ノ金融狀態ヲ參酌シテ、設  
併シコチラデ補助ノ割當ニ困ルト云フ位澤山出ルト宜イノデアリマスケレド  
モ、餘リ出テ來マセヌ、甚ダ不謹慎ナ事

市會アタリニ質屋ノ方ガ一二人出ラレ  
テ居ルヤウナ場合モアリマシテ、公益  
質屋ノ案ハ市會デモ中ニ通リニクイ、  
甚ダ失言カモ知レマセヌガ、輕ク御聽  
流シヲ願ヒタイ、從フテ申込ガ殺到シテ  
割當ニ困ルト云フ程申込ガ出テ來ナイ  
ト思ヒマス

ウゴザイマスカラ、内務大臣ノ御出席ヲ御取計ヒヲ願ヒタイト思ヒマス、只今長官ノ低利資金ト云フ御言葉アリマシタガ、長官ニ御分リニナル程度ノ低利資金ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス、此低利資金ノ運用ハ、一面本案ヲ活カス上ニ必要ト思ヒマスガ、大體此低利資金ハドウ云フ風ニ運用サレテ、ドレ程ノ効キヲ爲サルト云フ御意見デアリマスカ、ソレヲ御伺ヒシタイ

○長岡政府委員 此設置ノ方針ニ付キマシテハ、先程ノ御答ヲ繰返スヤウデゴザイマスガ、要スルニ地方ノ状況ヲ視マシテ、公益質屋ガ無イトカ、或ハ其都市、農村ノ金融ガ非常ニ逼迫シテ、金利ガ非常ニ高イト云フヤウナ各種ノ具體的標準ヲ決メテ、急ヲ要スルモノカラ順ニ致シタイト云フコトダケシカ、只今ノ所デハ決シテ居リマセヌ、低利資金ノコトハ、從來ハ運用委員會ニ於テ、大體社會事業ノ貸付トシテ一千萬圓ツツ社會局デ融通ヲ受ケテ居リマス、是ハ勿論郵便貯金ノ状況デ將來増減ガアルカモ知レマセヌガ、今マデノ例ハ運用委員會ノ手ヲ經テ一千萬圓ツ、ノ融通ヲ受ケテ居リマス、質屋ノ資本ハ一千萬圓ヲ喰込マズニ、ソレ以外ニ融通シテ吳レルカト云フコトハ決マテハ居リマセヌ、ソレ以上ノ事ニナルトアナタノ御話ノヤウニ屬僚ノ私カラ申

○横山委員長　此公益質屋法ト云フ文字ヲ使フテ居リマス、是ハチヨクト耳障リノヤウデアリマスガ、是ハ市營質屋若クハ町營質屋、村營質屋ト云フコトニスルカ、或ハ公營質屋トカシタ方ガ宜イト思ヒマスガ、西洋ノ言葉デモ譯シタノデアリマスカ、其根據ヲ承リタイ〇長岡政府委員　公益質屋ト申シテ居ノハ、翻譯シタ意味デハゴザイマセヌ、大體從來カラ公益質屋ト申シテ居リマス、公益質庫トスルト云フ案モアリマシタケレドモ、質屋ト云フ名稱ヲ變ヘル必要モ無イト云フコトデ、公益質屋ト致シマシタガ、斯ウ云フ文字ヲ用ヒテ他ノ一般ノ質屋ト區別シタイト云フダケデアリマス、職業紹介所法ニ依テ出來ル職業紹介所ト云フ名稱ハ、口入屋ニハ使ハセテ居リマセヌ、紛ハシイ名稱ヲ用ヒテ、職業紹介所ト云フ字ヲ使フタ例ガアリマシテ、ソレガ營利的ノ口入デアツテ、名稱ダケ職業紹介所トシテ居ツテ周旋料ヲ取ラレタト云フ例ガアリマスカラ、只今ノ職業紹介所デモ區別フシテ居リマス、詰リ私營質屋ト區別シテ、一般ノ質置主ニ分ルノハ隨意デアリマスガ、東京府ノ社會局デヤツテ居ルノハ、武藏屋——前橋カ高崎デアリマシタカ、然無質屋ナンエマス

ト云フ名前ヲ付ケテ居リマス、例ヘバ  
公益質屋武藏屋ト云フ風ニヤレバ宜シ  
イノデ、是ダケニ限定スル必要ハナイ  
ノデアリマス、東京市立公益質屋武藏  
屋トシテモ差支ナイト思ヒマス  
○横山委員長 公益質屋ノ大體ノ意味  
ハ了解致シマシタガ、公益質屋ト云フ  
ノハ營利ヲ目的トスルノデハアルマイ  
ト思ヒマスガ、ドンヽ利益ガ舉ルト  
云フヤウナ場合ニハドウスル積リデア  
リマスカ

○長岡政府委員 只今私共ノ計算致シ  
マシタ例ニヨリマスト、市町村ニ於キ  
マシテハ臨時費ニ對シテ半額ヲ負擔ス  
ル、是ハ將來市町村ノ財産トシテ残ル  
ノデアリマスカラ、半額ハ負擔サセル、  
他ノ半額ハ補助ヲスル、四分八厘ノ低  
利資金ヲ借リマスト、人件費、物件費ヲ  
支辨致シマシテ、約八十一「パーセント」  
ノ金ヲ運用シテ居ルモノト見マスト、  
大體一バイヽノ計算ニナリマス、儲  
カリモセズ、市町村ハ臨時費以外ニハ  
云フ場合ニハ、利子ヲ低減サセル外ハ  
ナカラウト思ヒマス、是ハ月百分ノ一・  
二五ト云フコトニナッテ居リマス、ソレ  
以上ヲ取ツテハイカヌト云フコトニナッ  
テ居リマスガ、ソレ以下ニ低減シテ、小  
サイモノハ利子ヲ免除スルト云フヤウ  
ナコトハ、市町村條例デ勝手ニ出來ル  
ト思ヒマス、重ネテ申シマスガ、儲カル

場合ニハ利子ヲ低減スル方針ニ出ル方  
ガ宣カラウト考ヘテ居リマス  
○横山委員長 次ニ承リタイノハ、今  
ノ御話ニ依ルト民營ノ質屋ト公益質屋  
ト兩々併立シテ行クヤウニシタイト云  
フコトデアリマス、併シ公益質屋ガ盛  
ニナツテ來ルト、民營ノ質屋ニ影響シテ  
來ルコトハ當然デアルト思ヒマスガ、  
政府ノ究局ノ目的ハ從來ノ營利質屋ト  
云フモノヲ無クセシメルコトガ眞意デ  
アリマスカ、或ハソレモ一種ノ金融機  
關トシテ増加スルコトヲ希望シテ居ル  
ノデアルカ、現状ノ儘デ、増加モセズ、  
減少モセザルコトヲ希望シテ居ルノデ  
アルカ、殊ニ震災地ニ付テ御考ヲ願ヒ  
タイノハ、私ノ見ル所ニ依レバ、震火災  
ニ依テ東京市中ノ質屋ハ餘程減少シテ  
居ルト思ヒマスガ、是ガ區劃整理デモ  
出来テ、住居ガ安定シ、景氣ガ恢復シテ  
云フ事柄ニ付テ、政府ハ之ヲ希望スル  
カ、希望シナイカ、本案ノ目的ヲ完全ニ  
遂行スルト云フコトニナレバ、從來ノ  
民營ノ質屋ト云フモノガ増加スルコト  
ハ好マナコトニナリハセヌカト思ヒ  
マス、此點ノ御考ヲ承フテ置キタイ  
マスト、是ハ一概ニ御答シニクイノデ、  
ノ殖エルコトハ望マシイノデアリマス  
ガ、因業ナ質屋ハ殖エテ貰ヒタクナイ、  
又地方ニ依リマシテハ、質屋ノ多イ所  
減サセルト云フ御意見ガアリマシタガ、

場合ニハ利子ヲ低減スル方針ニ出ル方  
ガ宣カラウト考ヘテ居リマス  
○丸山委員 現在全國ノ町村ニ於ケル  
公益質屋ニハ、低利資金ヲ用ヒテ居ル  
町村モアリマセウシ、或ハ町村自體ノ  
アリマス、是等ノモノハ本案トハ全ク  
アリマスカ、學生ヲ上得意トシテ居ルモ  
ノモゴザイマスシ、又藝娼妓、俳優等ノ  
花柳界ノ人ヲ上得意トシテ居ルモノモ  
アリマス、是等ノモノハ本案トハ全ク  
没交渉デアラウト思ヒマス、唯細民ヲ  
上得意トシテ居ル質屋ト、此公益質屋  
ノ關係ガ殘ルノデアリマスガ、私ハ此  
位ナ公益質屋ガ増加致シマシテモ、私  
營質屋ハ大ナル打擊ヲ蒙ルコトハナカ  
ラウト思フノデス、此點ガ丸山君カラ  
不徹底ダト云フ御叱ヲ受ケル所デスガ、  
先ツ漸進主義ヲ採ツテ行ケバ、從來ノ私  
營質屋ニ大ナル打擊ヲ與ヘルコトハナ  
カラウト思ツテ居リマス、殊ニ震災地ニ  
於キマシテハ非常ニ質屋ガ不足シテ居  
テ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、  
若シ此事業ガ今後ニ於テ一・二五ト云  
フ低利ヲ以テスルナラバ、低利資金ヲ  
用フル場合ニハ宜シイガ、町村ノ資金  
ヲ用ヒテヤル場合ニハ、却テ事務費ノ  
方ガ多クナツテ、町村ガ損害ヲ來スト云  
フコトガアリハセヌカ、サウナルト今  
後ニ於ケル本案ノ活用ハ全然低利資金  
ニ俟タナケレバナラナイト云フコトニ  
歸著スルノデアル、此故ニ從來ノ事業  
状態ヲ表ニシテ御示シヲ願ヒタイト云  
辯中ニ、市町村ニ於ケル事業ノ上ニ於  
テ、若モ利益ノアル時分ニハ利子ヲ低

法人ノ場合モ利益ノアル時分ニハ之ヲ  
低減サセル御意見デアリマセウカ  
○川口委員 只今丸山君カラ公益質屋  
ノ事業ノ成績デスカ、サウ云フコトノ  
要求ガアリマシタガ、私ハソレニ關聯  
シテ東京ノ公益質屋デドウ云フヤウナ  
モノヲ扱ツテ居ルカ、例ヘバ金額ノ別ニ  
依リ一圓以下ハ何口扱ツタ、或ハ三圓以  
下ハ何口扱ツタ、或ハ五圓以下ハ何口扱ツ  
タト云フヤウナ御調ガ付イテ居リマ  
シタナラバ、今ノト一縁ニ御示ヲ願ヒ  
タイ

○長岡政府委員 只今ノ御註文デアリ  
マスガ、公益質屋ニ於ケル運轉資金ト  
其財源、基本財産ガ低利資金カ何カト  
云フコト、是ハ悉ク分ツテ居リマス、貸  
付ノ制限モ分ツテ居リマス、利率モ分ツ  
テ居リマスノデ、ソレナラバ直ニ其事  
ヲ表ニシテ差上グマスガ、收支決算マ  
デハ特別會計ノ各町村ノ豫算決算ヲ取  
寄セテ見マセヌト、表ニシテ差上ゲル  
コトハ困難カト思ヒマスカラ、只今ノ  
程度デ御勘辨ヲ願ヒタウゴザイマスガ  
○丸山委員 宜シウゴザイマス

昭和二年二月十九日印刷

昭和二年二月十九發行

衆議院事務局

印刷者 民友社